

～ホースの取り付けに際して～

- ・ホースを取り付ける場合は必ず多少たるませて下さい。
(圧力が掛かるとストレートチューブの場合は、約2%程度の伸縮があります。
プライアブル・コンボリユートの場合は、チューブの形状上伸縮率が大きくなりますのでご注意ください。)
- ・ホースをねじらないように取り付けてください。
(金具の離脱、漏れの原因になります。)
- ・ホースが口金具の付近から急激に曲がらないような配管をして下さい。
(漏れ、早期疲労の原因となります)
- ・最小曲げ半径以下に曲げないで下さい。
(早期疲労の原因となります。)
- ・ホースが他のものと接触しないように配管して下さい。
(外傷により破壊の原因となります。)

～ホースの保護方法～

- ・外装スプリング(全面)
ホースにスプリングを装着し、損傷を防ぎます。
- ・外装収縮チューブ
ホースに収縮チューブを施し摩耗や、薬液による浸食を防ぎます。
(仕様によりチューブ材質を選定いたします。)
- ・口元スプリング
口金具にスプリングを装着する事により、曲げによる応力が集中するのを防ぎます(和らげます)。
- ・ガラスブレード
ホースにガラスブレードを施し、輻射熱によるストレスを緩和させます。
(高温流体使用時の断熱用としてもご利用いただけます。)
- ・耐熱スポンジ
ホース全体又は一部に耐熱スポンジを装着し摩耗を防ぎます。
(高温流体使用時の断熱用としてもご利用いただけます。)

その他、状況に合わせて保護方法をご提案させていただきます。
お気軽にご相談下さい。

～ホース金具の締付けトルク～

- ・ホースアセンブリを取り付ける際、ユニオンナットタイプの金具は必要以上に強く締め付けるとナット及びシート面の破損の原因となります。
下記の「適正締付トルク表」を参考に締付けて下さい。

適正締付トルク表

ねじサイズ	1/4	3/8	1/2	3/4	1	1 1/4	1 1/2	2
最大締付トルク値 $N \cdot m$	25	34	64	132	196	225	255	316